



株式会社やまと

SDGs進捗レポート

弊社はSDGsの目標達成に向けた取組みを行っています



福岡県嘉麻市「桑野の梯橋（かけはしばし）」の模型製作業務に携わりました。

発注者：嘉麻市教育委員会 生涯学習課 文化推進係

業務名：「桑野の梯橋」模型製作業務委託に係る設計・作図、製作、説明書作成業務

受注金額：724,240円

工期：令和7年5月19日～令和7年10月21日

受注者：株式会社尾上建設 熊本県上益城郡山都町千滝222-1

業務内容：嘉麻市は、桑野の梯橋の保存と将来の活用を目的としており、本業務は、「桑野の梯橋」の構造や技術的特徴を広く市民の皆様にご周知することを目的とした「梯橋」の木製模型（実物の1/3スケール）を製作する業務です。

また、本業務は11月23日、福岡県嘉麻市教育委員会生涯学習課の主催による開催予定の「桑野の梯橋模型」を用いた石橋文化継承ワークショップの実施に向けた、組立・解体の事前レクチャーと本番実施を組み合わせた二段階構成を採用した点に特徴があります。

一次下請：株式会社やまと

株式会社やまとの役割

設計・製作・検査・説明書作成・納品・事前レクチャーまで

1. 石橋の応急保全業務のSDGs関連性

石橋の応急保全業務（設計・積算・施工）は、主に橋の保護と保全を目的としているため、以下のSDGs目標に関連していると考えられます。

■SDG 9：「産業と技術革新の基盤を作ろう」

本業務は、地域インフラである石橋の機能維持および長寿命化を図るものであり、持続可能な社会基盤の整備に寄与しています。

特に、伝統的な石橋構造に対して現代の技術を用いた調査・設計・補修を行うことで、地域に根差したインフラの維持と技術継承の両立を実現しています。

■SDGs目標11：「住み続けられるまちづくりを」

石橋は単なる交通インフラにとどまらず、地域の歴史や文化を象徴する貴重な資産です。本業務により石橋の保全を行うことは、地域文化の継承および景観の維持につながり、持続可能なまちづくりに貢献します。

■SDGs目標17：「パートナーシップで目標を達成しよう」

本業務は、行政（発注者）、民間企業（施工・設計）、地域関係者が連携して実施されており、官民連携による持続可能なインフラ維持の好事例といえます。

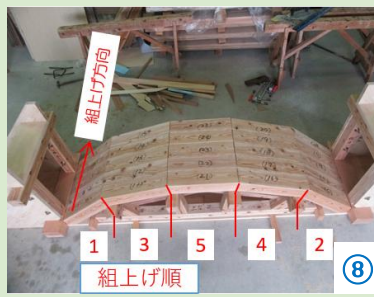
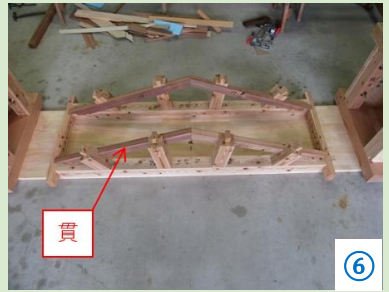
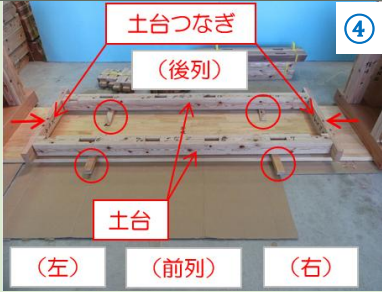
それぞれの専門性を活かした協働により、より効果的かつ継続的な保全が可能となっています。

2. 模型製作からワークショップ実施までの取組み

■ 模型製作・納品（8月4日）

桑野の梯橋模型 組立手順

S:1/3



嘉麻市へ納品

嘉麻市に残る石橋「桑野の梯橋」をモデルとした木製模型の製作を行い、令和7年8月4日に納品しました。

本模型は、石橋の構造や特徴を体感的に理解できるよう、実物の約1/3スケールで精巧に再現したものです。

また、組立・解体を繰り返し行える構造とすることで、ワークショップ教材としての活用を前提に設計しています。

■ 組立・解体方法の動画作成・共有（事前準備）

☆組立手順（YouTube）：URL：https://youtu.be/J_aglmWSL5o

☆解体手順（YouTube）：URL：<https://youtu.be/YNKO9TlnLDk>

模型製作後、組立・解体手順の確認を目的として仮組立を実施し、その作業工程をビデオ撮影しました。

撮影した映像は編集・整理を行い、「組立・解体方法」としてまとめ、嘉麻市へ提供しました。この動画により、ワークショップ運営に関わる関係者が事前に組立手順や注意点を理解することが可能となり、円滑な運営準備につながりました。

■ 事前レクチャー（9月19日）

（📷 写真：レクチャー風景）

本番ワークショップに先立ち、嘉麻市教育委員会職員およびボランティアを対象に事前レクチャーを実施しました。

事前に動画で学習していただいたこともあり、当日のレクチャーでは、より実践的な内容に重点を置いた説明を行うことができました。

模型を用いた実演を通じて、組立手順の確認や安全面の注意事項、運営上のポイントを共有し、本番に向けた最終確認を行いました。



■ 本番ワークショップ（11月23日）

「グッドウッド モット木育まつり」において、石橋づくりワークショップが開催されました。

事前レクチャーの成果により、当日は嘉麻市教育委員会職員およびボランティアの方々のみで円滑な運営が行われ、参加者は模型の組立を通じて石橋の構造を体感的に学ぶことができました。

本取組では、模型製作にとどまらず、動画教材の提供による事前学習と対面レクチャーを組み合わせることで、理解度の向上と円滑な運営を実現しました。



■ まとめ

本業務では、「桑野の梯橋」の模型製作を通じて、石橋の構造や技術的価値を分かりやすく伝えるとともに、ワークショップの実施までを一体的に支援しました。

模型製作に加え、組立・解体動画の作成、事前レクチャーの実施、本番運営への支援を段階的に行うことで、関係者の理解促進と円滑な運営体制の構築に寄与しました。

その結果、当日のワークショップは、行政およびボランティアの主体的な運営により円滑に実施され、参加者が石橋の構造を体感的に学ぶ機会を創出することができました。

また、石橋技術の普及と次世代への継承を担う取り組みとして、今後の展開も期待されます。

本取り組みは、地域の歴史的資産である石橋の保存・活用と技術継承に貢献するとともに、教育・文化・地域連携の観点からも意義のある活動となりました。今後も当社は、こうした取り組みを通じて、持続可能な地域づくりと文化資産の継承に貢献してまいります。